

季節の言葉」

春の空

(教科書三十六、三十七ページ)

①声に出して読もう。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこ
しあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

意味…春は明け方がよい。だんたん白くなっていく山ぎわの空が、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいているのがよい。

②自分の「春はあけぼの」を書いてみよう！

・春のどんなところが好きですか？

・テーマを決め、「春は…」に続けて書いてみよう。

テーマ

春は、